



全国火災予防運動

平成29年度全国統一防火標語

『火の用心 ことばを形に 習慣に』

実施期間 11月9日(木)から11月15日(水)までの7日間



暖房器具の使用や空気の乾燥により火災が発生しやすい季節になります。地域のみなさんに火災予防の重要性を知ってもらい、火災による死者の発生や財産の損失を防ぐため、全国火災予防運動が行われます。各家庭で次の点について確認してみましょう。

- 住居に設置されている住宅用火災警報器、住宅用消火器について、機器の異常、耐用年数を確認し、必要があれば交換しましょう。
- たき火等で火を使用する場合は取扱いに注意し、水バケツなど必ず初期消火の準備を行い、火から絶対目を離さないなど管理を徹底しましょう。
- ガソリン、灯油、軽油などの可燃性の液体を貯蔵・取扱う場合は、火器類の付近での使用は避けましょう。
- 電気機器は使用方法を守り、老朽化している電気配線は交換を行い、ほこりが溜まりやすい隙間などの掃除をしましょう。

[住宅防火 いのちを守る 7つのポイント]—3つの習慣・4つの対策—

- 3つの習慣**
- 寝たばこはやめる。
 - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスコンロなどのそばを離れるときには必ず火を消す。
- 4つの対策**
- 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。
 - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

☎ 諏訪広域消防 富士見消防署 ☎61-0119

—消費者見守り情報 No.81—

～気を付けてください。美容のための健康食品～

☎ 住民福祉課 住民係 ☎62-9112 茅野市消費生活センター ☎72-2101(内線 256)
長野県中信消費生活センター ☎0263-40-3660

美容を目的とした「プエラリア・ミリフィカ」を含む健康食品について、厚生労働省から健康被害に関する情報提供がありました。

プエラリア・ミリフィカというマメ科のクズと同属の植物の貯蔵根を原材料として配合した、バストアップやスタイルアップ等の美容を目的とした健康食品が販売されていますが、この食品に関する危害情報が2012年度以降、国民生活センター等に相当数寄せられており、ここ2年間は増加傾向が顕著です。

危害情報の中には消化器障害や皮膚障害といった一般の健康食品でもよくみられる危害事例のほかに、月経不順や不正出血といった女性特有の生理作用に影響を及ぼしていると考えられる特徴的な危害事例も多く見受けられました。

そこで、国民生活センターが商品の安全性に関するテストを行い、その結果に基づき、次の点に注意をするよう情報を提供しています。

- ① プエラリア・ミリフィカを含む健康食品には、強い女性ホルモン様作用を持つとされる成分が多く含まれているものが多く、摂取によりホルモンバランスが崩れるなど、思わぬ健康被害が発生するおそれがあるため、安易な摂取は控えましょう。
医学的に若い女性がバストアップ等の目的のために使用することに関して、安全性や有効性の報告はほとんどありません。また、妊娠中・授乳中・小児に関しては、利用を避けることや女性ホルモン関連の医薬品の服用者や治療を受けている人も自己判断で安易に利用することを避けるべきと言われています。
- ② プエラリア・ミリフィカを含む健康食品を摂取して体調に異常を感じた場合、直ちに摂取を止め、医療機関を受診しましょう。
近年の動物実験では、プエラリア・ミリフィカの投与により乳腺や子宮内膜の異常増殖が認められ、乳腺の発がんを促進するとの報告も出ています。

